

… 農家と学ぶ勉強会 2 …

生産者ができること と ニーズの見える化

日時：令和4年6月25日(土) 13:00-17:00

場所：高知県立大学（池キャンパス、Pあり）またはオンライン参加

申込期限：令和4年6月17日（金）

申込時に会場参加もしくはオンライン参加をお選びいただけます。

昨年7月、消費者、生産者、食品関連事業者、行政が一体となって、食と農のつながりの深化に着目した新たな国民運動「ニッポンフードシフト」が始まりました。「食から日本を考える」というフレーズが表しているように、社会全体が大きな変化に直面している今、これからの「食」はどうあるべきかを見直し、大切な資源である国産農産物の丁寧な利用について考えることは重要です。

消費者・実需者の中には「こういう野菜を作ってほしい」と求めている方がいる一方で、「ニーズに合わせた野菜を生産したい」と考える生産者もいます。消費者・実需者がどのようなものを求めているのか、また、生産者はどのような野菜を作っているのかについても「見える化」していく必要があります。

「農家と学ぶ勉強会」第2段となる本シンポジウムでは、食品加工・商品開発企業、また、公的機関から講師をお招きして、国産野菜や高知県野菜に求められるものや売り方について、意見交換を行い、一緒に考えます。

本テーマに関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしています。（定員100名程度）

プログラム、会場住所、
お申し込み方法は、
次頁をご覧ください。



IoPプロジェクト

ミニシンポジウム

参加費無料

農家と学ぶ勉強会 2「生産者ができるコトとニーズの見える化」

プログラム

当日のスムーズな運営のために、お申込み時にご質問を受け付けています。ご活用ください。

令和4年6月25日(土) 13:00~17:00

13:00~13:05 開会

13:05~13:45 講演①「企業が求める食料生産の方向性と産地との関係づくり」

株式会社ポテトデリカ(キューピーグループ) 代表取締役社長 齊藤 真寛 氏

13:45~14:25 講演②「原料の産地から食卓まで」

ヒガシマル醤油株式会社 研究所 取締役研究所長 古林 万木夫 氏

(休憩)

14:35~15:05 講演③「大根の生産から加工まで、そしてこれからの課題」

株式会社中央フーズ 代表取締役 金子 元 氏

15:05~15:35 講演④「ワースト2位からトップへ、さらにその先を目指す高知県野菜」

高知県農業イノベーション推進課
チーフ(データ駆動型農業推進担当) 小笠原 香 氏

(休憩)

15:50~16:50 質疑応答

パネルディスカッション

「食の未来を異なる視点で考える

～生産者、加工業者、消費者、研究者の立場から～

16:50~17:00 閉会(まとめ)

お申込みについて

パソコン、タブレット、スマートフォンから
右のコードにアクセスして下さい。お申込み
フォームが開きますので、必要事項を記入の
上、送信(ご登録)下さい。



お申込みフォーム

*お申込み後のご連絡は電子メールで
行います。メールアドレスはお間違いの
ないよう、送信前に、必ず、ご確認下さい。

*お申込み後、申込完了のメールをお送りします。
メールが届かない場合は、下記までお問い合わせ下さい。

【会場参加の場合】

当日は高知県立大学池キャンパス
(高知市池2751番地の1)にお越しくだ
さい。会場でご参加される方には、
開催日までに会場案内をお送りします。

【オンライン参加の場合】

聴講にはPC、タブレット、スマート
フォンのいずれかが必要です。オンラ
インでご参加される方には開催日ま
でに参加URLをお送りします。

お問合せ先

IoPプロジェクト研究推進部会 高付加価値化プロジェクトチーム

「農家と学ぶ勉強会2」担当

〒783-8502 高知県南国市物部乙200

☎ 088-864-6780 (または5173)

✉ kp03@kochi-u.ac.jp

(高知大学 IoPイノベーション推進課)

ご参加、お待ち
しています!



IoPプロジェクトについては
こちらをご覧ください。

